

発行所 **ダイセン株式会社**
 〒541-0051 大阪市中央区備後町3-4-9
 電話(06)6201-5012 Fax:(06)6226-0106
 E-mail: webmaster@sen-i-news.co.jp
 東京支社 〒101-0037 東京都千代田区神田西福田町3番地 新樹ビル5階
 電話(03)5289-7003 Fax:(03)5289-7233
 中部支局・中国支局・北陸支局・上海支局・蕨森商務諮詢(上海)有限公司
06-6201-5012(代) hanbai@sen-i-news.co.jp

**着る身になって
良い品づくり**
 <スクールウェアの専門メーカー>
児島株式会社
 TEL.(086)472-2833

寒波続きで単価の取れるホリユーム感のあるカジュアルウェアの販売が好調だ。この流れは昨年12月から続いており、年初の福袋の販売やセールの好調販売へと結び付けている。加えて、インバウンド効果が後押しし、都心店はさらに良好。久々に今冬物は一掃されそう。

ファーストリテイリングの2014年12月国内ユニクロ事業は、客数は前年同月比1.4%減少したが、売上高、客単価は2けた%の増と好調

今までのウェア動く

大手カジュアルチェーン店
12月度既存店販売

(前年同月比、単位%)

社名	売上高	客数	客単価
コックス	100.6	92.8	108.3
しまむら*	105.4	103.6	103.3
ジーンズメイト*	111.0	101.9	108.9
タカキュー	97.2	90.2	107.8
ファーストリテイリング	110.2	98.6	111.7
ポイント	99.1	93.4	106.2
マックハウス	99.5	98.1	101.4
ユニテッドアローズ	95.6	90.3	105.9
ライトオン*	98.0	98.2	99.8

インバウンド効果も後押し

ポイントは、既存店ベースでは前年実績を求めているところだが、全店ベースでは1.3%の増加。チェーンストアの増加も、トータルではポイントが大きい。これは、インバウンド効果も後押しし、都心店はさらに良好。久々に今冬物は一掃されそう。

きょうの紙面

- 日清紡HD 次は売上高1兆円 2
日清紡ホールディングス(HD)の河田正也社長は8日に大阪で会見し、「2025年度には連結売上高1兆円、ROE(株主資本利益率)10%台を目指す」との考えを明らかにした。そのためにM&Aを含めた積極的な投資を行う方針だ。
- 宇仁織維 丸増を完全子会社化 3
宇仁織維の宇仁龍一社長は8日、生地商社の丸増(京都市中京区)の全株を1月5日付で取得し、完全子会社化したと発表した。同時に丸増の資本金を500万円から3500万円に引き上げた。大手アパレルとの関係強化やテキスタイルに精通した人材を確保することが狙い。
- 三備ユニフォーム展 きょうから本格化 3
広島、岡山地区のユニフォーム製造卸の期日統一展示会「三備ユニフォームフェア」がきょう13日から本格化する。
- 川越政・15秋冬 多彩な国産生地用意 10
中堅生地商社の川越政(大阪市中央区)は15秋冬向けに、上品さとカジュアル感を併せ持ち、海外販売も視野に入れたメイドイン・ジャパンの新作生地を豊富に打ち出す。
- カジグループ 高付加価値化狙う 11
カジグループの織布部門カジレーネ(石川県かほく市、梶政隆社長)は今2015年8月期、約2億5000万円を投じて新型サイザー、ビーマー各1基、ウォータージェット織機16台を大幅ドビー機ヘスクラップ&ビルド方式で更新した。旧設備は協力工場内で維持し、実質能力増となる。
- 特集 「四国タオル産地」 4~9
リコーが勤務時間中の全面禁煙に踏み切った。出張や外出先でも禁止するという。韓国では年初から飲食店内でも全面禁煙を実施しているという。日本では、鉄道車内での喫煙を注意され、逆ギレして座席のテーブルを破壊した60代男がいた。煙を深く吸い込んで「プツッ」と吐く快感も、その周囲にいる人たちに「禁煙して座席のテーブルを破壊した60代男がいた。煙を深く吸い込んで「プツッ」と吐く快感も、その周囲にいる人たちに「禁煙して座席のテーブルを破壊した60代男がいた。」

物流戦国時代 ①

物流企業がアセアン地域に熱い視線を注いでいる。縫製を中心にサプライチェーンの構築が同地域を対象に進み、昨今の円安でアセアンシフトは、もう一段加速するとの観測も強まる。物流企業にとって、それはそのまま新たな商機につながる。同時に競合激化のなかでいかに差別化するかも重要な課題になる。

鴻池運輸は中国から東南アジア、南アジアへと展開している。直行からアセアン地域への物流の可視化も重視し、今後を展望する。

アセアン地域に熱い視線を注いでいる。縫製を中心にサプライチェーンの構築が同地域を対象に進み、昨今の円安でアセアンシフトは、もう一段加速するとの観測も強まる。物流企業にとって、それはそのまま新たな商機につながる。同時に競合激化のなかでいかに差別化するかも重要な課題になる。

鴻池運輸は中国から東南アジア、南アジアへと展開している。直行からアセアン地域への物流の可視化も重視し、今後を展望する。

プラスαの機能加える ワンストップサービス提案



神奈川厚木市には桑原と共有するアパレル物流センターを設立。アジアでの展開も視野に入れる。

の桑原愛知(一宮市)と提携した。検反・検品・検針・アソート組みなどの物流加工を桑原が担当。鴻池運輸がその前後にかかわる輸送を担い、一貫サービスとして両社で共同提案している。同時に拠点網も整備している。本業の物流に、その前後の工程に対応する「プラスαの機能」を加えて付加価値を向上させ、取り組みを増やすことがアパレル物流での同社の戦略だ。

このワンストップサービスの提案は、1年前に始めたが、今後には構想でネットワーク化して、将来的には、これら既存拠点のサービスをアパレル関連にも対応させたい。鴻池運輸は14年1月にミャンマーのヤンゴンに現地法人を設立し、同7月には冷凍・冷蔵食品を対象にした定期トラック混載便サービスを展開するカンボジア現法も開設し、ベトナムにも食品関連で拠点を持つ。将来的には、これら既存拠点のサービスをアパレル関連にも対応させたい。

川越政 15秋冬 多彩な国産生地用意

中堅生地商社の川越政(大阪市中央区)は15秋冬向けに、上品さとカジュアル感を併せ持ち、海外販売も視野に入れたメイドイン・ジャパンの新作生地を豊富に打ち出す。硫化染めでデニム風に仕上げたパーシヨンを用意し、パンツ地やシャツ地の別色にも対応する。通常のストリート地を使用する60双系のウールギャバを硫化染めし、デニム調の表面感に仕上げた生地は、トレンドが見込まれるカーキでの展開。味。

海外販売を強化 東南アジアへ浸透図る

タオル製造卸のナストーコーポレーションが、海外販売を強化している。中国と香港内販向けは堅調に推移する。中国内

のある表面感とエレガントな質感が特徴だ。これらは15秋冬向けに開発した新作生地のごく一部であり、いずれもトレンドを意識しながらも「売りたいものを売る」という同社コンセプトに基づいた独自性が光る。2月4~6日に東京都渋谷区の「THE S.A.D. CAFE STUDIO」で開催する合同展示会で豊富な新作生地を多量に訴求するほか、同社ホームページでも披露される。

エロール総合見本帳発売

エロールは20日、ローコスト対応できるように、ウール総合見本帳「カーペットコンシェルジュVol.4」を発売する。カーペットコンシェルジュVol.4は、ホテル空間をはじめとする様々な用途に幅広く活用できる。

販売は、山東省の青島那須販売。山東省の青島那須販売は中国で組み立てる。ナステックス・ブランドを展開し、無燃系使用などを提案する。同社では、中国を生産拠点に欧米向けOEMも視野に入れており、安定した品質や調達力、企画提案力などを武器に浸透を図る。

「カーペットコンシェルジュVol.4」様々な用途に幅広く活用できる。発売に合わせて継続品の一部で小売価格を改定した。原材料の相次ぐ高騰が理由で、上げ幅は7・4・18・3%。

ブランドローは新柄1マーク・4アイテム、継続柄4マーク・17アイテム、ラファは新柄3マーク・18アイテムをそれぞれ加えた。

発売に合わせて継続品の一部で小売価格を改定した。原材料の相次ぐ高騰が理由で、上げ幅は7・4・18・3%。

知性と優しさを感じる
一枚のタオルから....